

ESDとは？



ESDはSDGs(持続可能な開発目標)達成に向けて、
持続可能な社会づくりの担い手を育む学習・教育活動のことです。

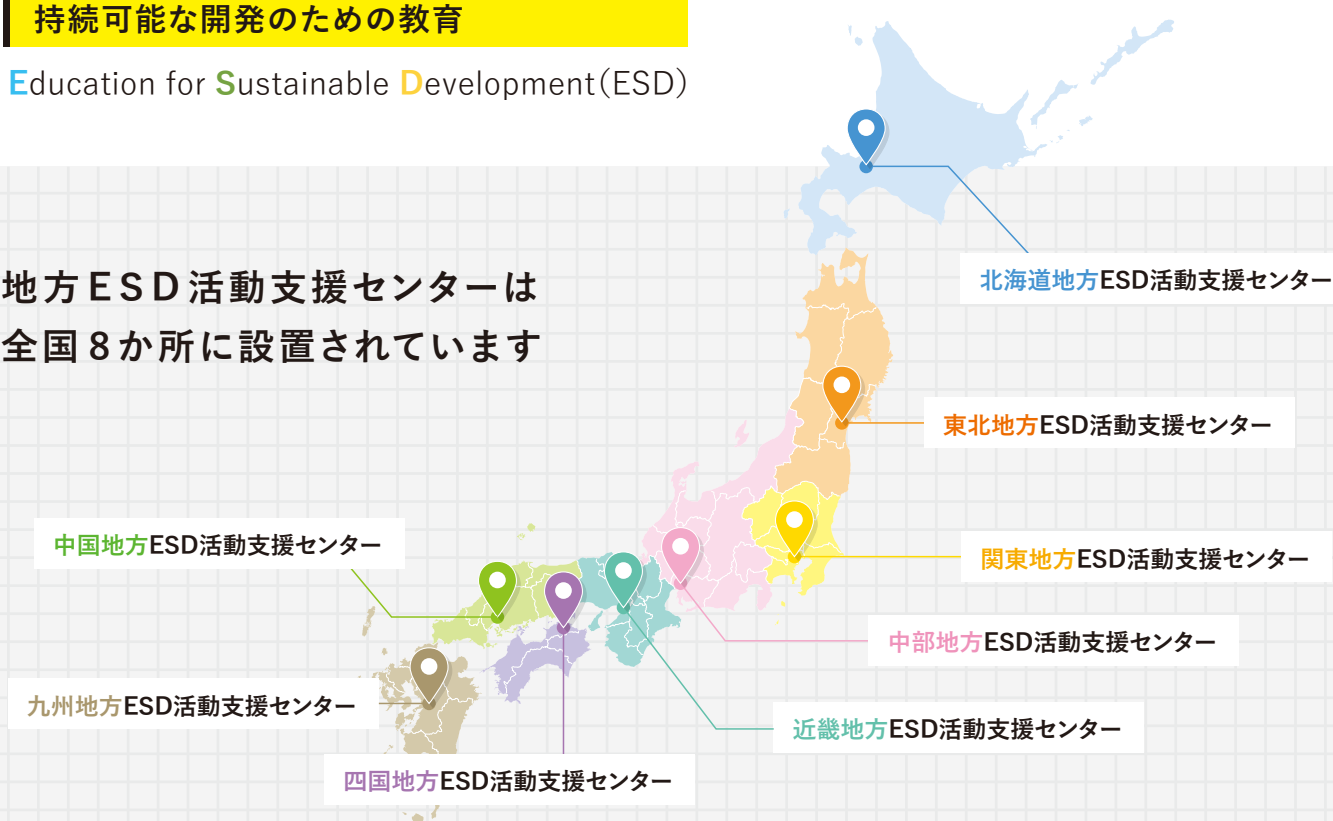
世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等人類の開発活動に起因する様々な問題があります。問題解決の鍵として注目されているのが「教育」です。持続可能な社会の実現のためには、全ての人が「暮らし方」や「社会の仕組み」を持続可能なものに変えていく必要があります。ESDとは問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して、世界中で取り入れられている教育方針です。

日本国内のESD活動を支援するため、文部科学省と環境省によってESD活動支援センターが開設されました。東北地方ESD活動支援センターは東北のESD活動・実践者を支援します。(開設日:2017年7月3日)

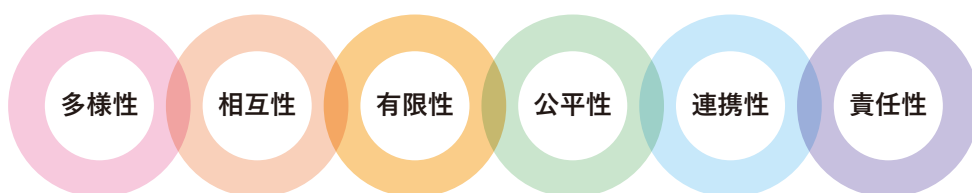
持続可能な開発のための教育

Education for Sustainable Development(ESD)

地方ESD活動支援センターは
全国8か所に設置されています



ESDで目指すこと
【6つの視点】



ESDは実践を通して学ぶ点が特徴です。地域や世界の問題を知り、自ら原因を考え、「自分の問題」として行動する「実践する力」の育成を目指しています。

ESDの変遷

【世界の動き・ESDの国際枠組み】

- 1987 ●「持続可能な開発(SD)」概念の提唱
- 2001 ●ミレニアム開発目標(MDGs)(2001~2015)
- 2002 ●持続可能な開発に関する世界首脳会議で日本政府・NPOが「ESD」を提唱
- 2005 ●国連ESDの10年(2005~2014年)
- 2015 ●持続可能な開発目標(SDGs)(2015~2030)
●ESDに関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)(2015~2019)
- 2016
- 2017
- 2020 ●ESD for 2030(2020~2030)
- 2021

【国内の動き】

- ESD国内実施計画
- ESD活動支援センター設置
- 地方ESD活動支援センター設置
- 学習指導要領の改訂(ESDが全体の基盤となる理念として掲げられた)
- 第2期ESD国内実施計画(SDGs達成のための教育の推進が示される)

■SDGs(エス・ディー・ジーズ)

持続可能な開発目標
(SDGs:Sustainable Development Goals)

2015年9月の国連サミットで採択された国際目標です。国連加盟193か国が2030年までに達成することを目指し、17の目標と169のターゲットを掲げました。経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会の実現を目指しています。貧困、紛争、教育、食糧、環境など、私たちが取組むべき地球規模の課題をテーマとし、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを理念に掲げています。



ESDとSDGsの関係

SDGsの17の目標のうち目標4に「質の高い教育を」という教育に関するゴールが設定され、ESDはターゲット4.7に位置づけられています。第74回国連総会においてSDGsの17全ての目標の実現に寄与するものであることが確認され、「ESDはSDGs実現の鍵である」と表現されています。

東北地方ESD活動支援センター

4つの機能

1

ESD活動を
支援する
情報の共有

ESDに関する情報を集め、提供します。

2

学び合う
場づくり

ESD活動に取り組む方、関心のある方が交流し、相互に学び合う場を提供します。

3

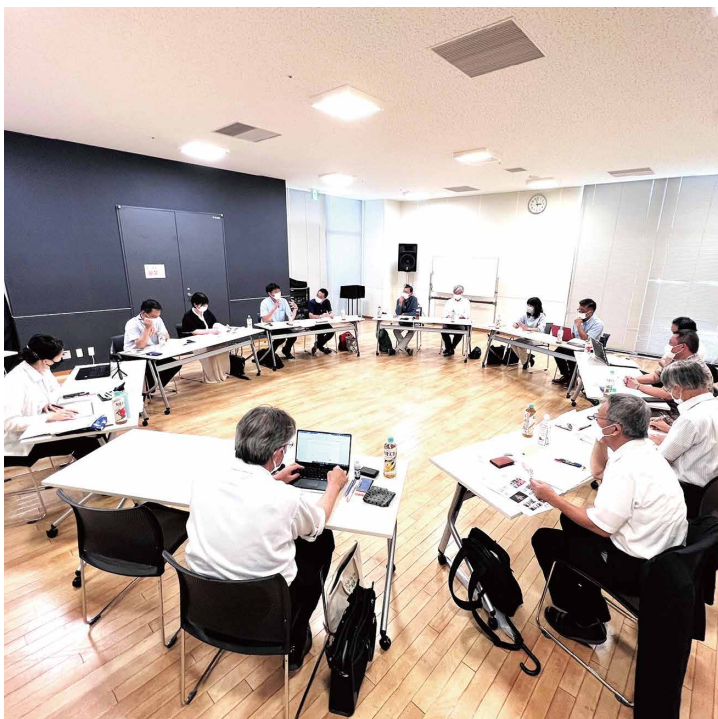
ESD活動の
支援

ESD実践に関する相談対応、ESD イベントの講師紹介、企画・開催を支援します。

4

人材の
育成

地域におけるESD 実践者、コーディネーター、ユースの育成と支援に取り組めます。



皆でつくる、東北の人と
情報が交流する場

ESD活動に取り組む人、これから取り組もうとする人、関心のある人が東北中から集まる『東北ESD/SDGs フォーラム』（年1回）を開催しています。多くの皆様のご協力をいただきながら、近年はオンライン配信、期間限定のアーカイブ配信も行っています。